

令和6年度 松江市立菅田会館運営審議会議事録

1. 開催日時 令和6年8月23日（金）15時00分から16時10分まで
2. 開催場所 松江市立菅田会館
3. 出席者 委員（9名）
江口博晴、三宅克正、門脇真希子、山本栄、土江邦夫
山崎幸江、松本京子、長谷川美利、山本恭治
松江市（4名）
石倉昌志、池田修、村上幸人、板持努
菅田会館（3名）
吉田徳人、山本さなえ、赤山智恵
4. 会長あいさつ（江口会長）
5. 市民部長あいさつ（石倉松江市市民部長）
6. 自己紹介
7. 審議会の成立
委員10名中、9名の出席により審議会が成立していることを報告した。
8. 議長選任
会長が議長を務めることを確認した。
9. 議事録署名人の選任
議事録署名人には門脇委員、長谷川委員を選任した。
10. 情報公開について
松江市情報公開条例第30条に基づき、審議会の議事録は公開とすることを周知した。
11. 議事
 - （1）令和5年度菅田会館事業報告
 - （2）令和6年度菅田会館運営方針（案）
 - （3）令和6年度菅田会館事業計画（案）

1 2. 審議の経過

(1) 令和5年度菅田会館事業報告

昨年度の活動状況について映像を用いながら資料に基づき説明し、事業報告を行った。

質疑・意見なく、委員の承認を得た。

(2) 令和6年度菅田会館運営方針（案）

(3) 令和6年度菅田会館事業計画（案）

関連があるので一括して資料に基づき説明を行った。

【質疑・意見】

(委員)

説明を聞いて、すごく一生懸命活動しているのがよくわかります。

それでちょっと聞いてみたいのは、あさ食・あさ学はどのくらい参加がありますか。

(会館)

あさ食・あさ学は貸館ですが、私に関わってやらせていただいています。

たくさん来ていますと言いたいところですが、大体決まったメンバーで、5、6人。お手伝いされている大人が3、4人というところで毎回やっておりますけれども、毎月楽しみにしてくれていますので、そのこどもたちの楽しい居場所にはなっているのではないかと考えております。

(委員)

ありがとうございます。

それで、11ページを見ると、20歳から30歳ベビーマッサージ、ママ・パパ育児教室、それから、40歳から60歳以上暖談喫茶、健康講座。同じようなメンバーだとしても、人数にしたら結構な人たちが活動しておられます。

川津公民館と比較してはいけませんが、結構学校が近いこともあって、小学校も中学校も高校もあるので、こどもたちが結構いろんな形で出入りしていると。それから活動にも積極的に参加している感じがしています。

それで、建物自体の造りも違うし、さっき言った学校が近くにあるということも違うのだけど、これからやっぱり、高齢者の方、それから子育ての方々、今結構力を入れて世の中が動いていると思うのですよ。

だけどやっぱりこれから先を考えていくと、こどもたちとの関係をどんどんつくっていくのも大事なかと。小学生の姿は見るけど、中学生、高校生、それから高専、大学。そばにあるのだけど、なかなかそういう人たちの姿を見ることがないので、何か仕掛けをして、そういう若い、小学生だけじゃなくて、中、高、大、高専、そういった人たちもここへちょっと来てもらうような、何か取組を考えていったら、ここの活動の様子を見てもらえるし、いいのではないかと感じております。私らも結構歳になり、これから先はそういう元

気な若い人たちの活動とか、いろんなことができるような気がするけど、今パッととは言えませんが、何かここで、こういう部屋もあるし、考えていけたらいいなと感じておりますので、またよろしくお願いします。

(会館)

貴重なご意見ありがとうございます。

私たちも中高生、いわゆるその年代のこどもたち、たくさん会館を利用して欲しいなということは常々思っております。

先ほど、まちづくり会の会長さんとも話していたのですが、その中高生とか、世代間交流も含めて、会館に魅力ある活動はないだろうかということで、昨年度、eスポーツとか、そういうものはどうだろうかねって言って、いろいろ考えて、eスポーツ連合会の方からお話をいただいたりすることもしております。

県の隣保館の支援事業があって、それで県の隣保館連絡協議会、県隣協が委託事業でやっているのが、菅田会館がeスポーツについて企画をしたら、それが通って、それで、さっき会長さんと話したのですけども交流スポーツ大会とか、そういうもので利用していけば、世代間交流にもなるし、高齢者のフレイル予防にもなるし、それからあと、若い世代との世代間交流、それから若い世代の魅力も感じられる、そういう新しい事業を展開していくといいねっていうのを、さっき2人で話していたところなのですが、そういうところも、今、会館としても考えているところです。ありがとうございました。

(委員)

先ほどの報告の中で、相談事業は、前年度を見ても74件。隣保館にしては、まあまあの数じゃないかと。

それでお伺いいたしますけれども、3名の職員さんしかおられなくて、相談事業のときにはどういう対応をなさっているのか。例えば一人で対応とか、二人で対応。本庁の方にも話がいくと思うのですけど、ここでの、第一段階のときの対応はどういう対応をされているのかお伺いいたします。

(会館)

相談事業についてですけれども、相談というものは、やはり信頼関係というのが一番大事で、それがまず一番だと、会館は考えています。相談、対象者、相談相手に適した職員が中心となって対応に当たっています。

ただ、その相談内容は、この三人の全職員で必ず共有しています。相談記録の記入や、それから必ず三人で話し合いをして、その相談の共有をして、対応に当たっているところです。

また本館は、町内在住の職員を中心に、町内の相談対応もしているのですけれども、必ず職員で共有しながら当たっています。

また学校関係の相談もあります。進路の相談とか、いろいろ家庭の相談とかもあります。

それも、我々のそれぞれの得意分野がありますので、それに適応した相談相手、相談を受ける担当が中心となってやっております。ただ、誰が相談の対応をしても、全職員で共有して、いろいろ支援に当たっている、そういう連携を取りながらやっています。

(委員)

相談事業は、ものすごく慎重にやっていただきたいと。それで、毎年こういう数字を出していらっしゃいますけれども、ぜひお願いしたいのが、先ほど言った少人数で大変でしょうけれども、タッグを組んで、慎重に扱っていただきたい。

(委員)

今年なんかも非常に感じますけれども、菅田会館は変わってきたなと思っております。昔の菅田会館は男性が3人いて、来にくい菅田会館だったと思いますけど、最近は、2人の女性がおられまして、こどもさんや高齢の女性たちが非常に多くここに来られるようになりました。明るくなった、本当にこれが、地域における隣保館だというふうに感じるようになりましたので、これを続けていただきたいと思います。

暖談喫茶も100円でコーヒードrinkさせてもらって、パンも食べさせてもらって、その時にお話するのを楽しみにしておりますけれども、続けて、大変少人数でよくやっておられます、ということで頑張っていただきたいと思います。

(委員)

地域のことで気がかりなことがあった時に頼りになるのは会館だというふうに思っています。ということで頼りにしております。どうぞよろしくお願いします。

ちょっとあってもすぐ動けるような体制だったらよいなというふうに思ったところで。これは感想でございます。返事はいいませんので、よろしくお願いします。

上述以外の質疑・意見なく、委員の承認を得た。

13. 閉会あいさつ（三宅副会長）